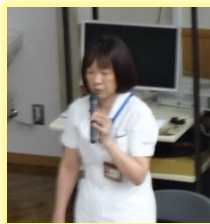


静脈注射Ⅰ・Ⅱ

～基礎から学ぶ静脈注射～



新卒者76名は、5月30日（火）・31日（水）に新卒者研修「静脈注射Ⅰ・Ⅱ」を受講しました。注射剤に関する基礎知識、静脈注射実施の法的解釈、静脈注射の基礎知識と手技について講義を受け、その後演習を行いました。静脈注射の特性・危険性・合併症などの知識を得たことで、患者に与える影響の大きさを実感し、安全確認のルールを遵守することの大切さを認識していました。安全に静脈注射を実施するための自己の課題を明確化し、今後の具体策を考えることができました。



＜講義の内容＞

薬剤師より**注射剤の特徴や与薬上の注意点**に関する講義がありました。その後、業務担当副看護部長より**看護師の法的責任や当院の静脈注射実施基準**に関する講義があり、最後に看護職キャリア支援教育担当副看護部長より**静脈注射の特性や合併症などの基礎知識と手技**に関する講義を受けて、研修者は演習に臨みました。

実際に起きた医療事故の事例や看護師国家試験の過去問題などが講義の内容に組み込まれており、研修者は真剣な表情で聴講していました。看護師として静脈注射を実施する責任の重大さを自覚していました。



静脈注射を実施する前には必ず患者への説明を行います。看護師役の研修者は、注射の目的や方法、副作用や注意事項についてわかりやすい言葉で伝える演習も行いました。

研修者はお互いに翼状針を穿刺しました。穿刺部位の選択や穿刺方法（角度や穿刺時の注意点）をマニュアルで確認し、指導を受けながら技術を実施していました。

翼状針を穿刺した後の固定方法も演習しました。抜去を予防する安全な固定方法や患者の負担に配慮した固定の位置を考えながら実施しました。



患者役を経験したことで、翼状針を身体に固定される苦痛や不快感に付き、丁寧な説明や声掛けの必要性を実感しました。



側管注と生食ロックの演習では、静脈注射の速度や投与中の患者観察の大切さを再確認できました。

研修者同士でお互いに翼状針を穿刺する時には緊張があったようですが、各部署の教育担当者から指導を受け、マニュアルを確認しながら一生懸命、静脈注射の基本を学んでいました。新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当